



1 フジハラビル

煉瓦色のスクラッチタイルが張られた外観は大正モダンの雰囲気たっぷり。エントランスは石造り、華麗なドア。オーナーが父親から受け継いだビルを自らの手で修復、みごとに甦らせました。地階と1階・4階はギャラリー。レトロな魅力に惹かれて若い感性が集まっています。

- ◆竣工：大正12年(1923)
- ◆住所：天神橋1丁目10の4

Start

▶軒蛇腹



2 三菱東京UFJ銀行

現銀行の前身である山口銀行北支店として建築。スクラッチタイルが剥がされるなど、改装されていますが、昭和初期の銀行建築の面影は残ります。軒蛇腹(のきじゃばら)の美しい装飾をお見逃しなく。

- ◆竣工：昭和5年(1930)
- ◆設計：片岡・石本建築事務所
- ◆住所：天神橋1丁目4の7

◀ギャラリー



3 天神橋

堂島川と土佐堀川をまたぐ雄大なアーチ橋。初めて橋が架けられたのは、文禄3年(1594)と伝わります。江戸時代は幕府直轄の公儀橋でした。大塩平八郎の乱など、歴史の舞台にも登場しています。

- ◆架設：昭和9年(1934)



4 日本キリスト教団 天満教会

プロテスタントの教会で、外観も内部もシンプルな構成です。設計者自身が開発した中村式鉄筋コンクリート造り(鎮ブロック工法)。礼拝堂の内部には、のびやかに4対のアーチが架かります。張りつめた緊張感とは違う厳かさ。ゆったりとした落ち着きを感じられます。

- ◆竣工：昭和4年(1929)
- ◆設計：中村鎮(まもる)
- ◆住所：天神西町4の15



5 西天満3丁目界隈

空襲の被害を免れたこの一帯には、明治期から昭和初期に建てられた町家が残っています。雰囲気を楽しみながら、ゆっくり歩いてみましょう。築100年ほどの町家を利用した中国茶館。寶玉堂と壁に印された町家は、大正時代の建築。蔵と自宅がひと続きの洋風デザインで、高級和菓子商だったそうです。



建築に込められた先人の熱き思い

文明開化の明治時代、そして「大大阪」と呼ばれた大正時代。元氣な大阪を象徴するかのようには北区には魅力的な建築物が次々と造られました。その一つひとつに物語があり、歴史に磨かれた美しさがあります。建築という視点から、歴史のページをめくってみませんか。

3.5km コース

- 1 フジハラビル
 - 2 三菱東京UFJ銀行
 - 3 天神橋
 - 4 日本キリスト教団天満教会
 - 5 西天満3丁目界隈
 - 6 大江ビルヂング
 - 7 大阪市交通局曾根崎変電所
 - 8 大江橋・淀屋橋
 - 9 日本銀行大阪支店(旧館)
 - 10 府立中之島図書館
 - 11 水晶橋
 - 12 大阪市中央公会堂
 - 13 難波橋
- 地下鉄南森町駅・JR大阪天満宮駅



古きよき建築と橋コース

菅南
Kannan

西天満
Nishi-temma

中之島
Nakanoshima

すいしょうばし

11 水晶橋

大小のアーチの組み合わせが優美。夜には橋全体がライトアップされ、水面に映った八角形の照明灯は、水晶の輝きのようです。

- ◆ 架設：昭和4年(1929)
- ◆ 改装：昭和57年(1982)



おおさかしちゆうおうこうかいどう

12 大阪市中央公会堂

大正時代のネオ・ルネッサンス様式。北浜の株式仲買商・岩本栄之助の寄付100万円で建設が始まりますが、株取引に失敗した栄之助は完成を見ることなく自害しました。平成14年(2002)、保存・再生工事が完了。辰野式と呼ばれるレンガ色と白のストライプが水と緑に映える美しさは、まさに大阪のシンボルです。重要文化財。

- ◆ 竣工：大正7年(1918)
- ◆ 設計原案：岡田信一郎
- ◆ 設計：辰野金吾
- ◆ 住所：中之島1丁目1の27



なにわばし

13 難波橋

江戸時代は公儀橋で、なにわ三大橋の一つ。このあたりは絶好の行楽地として夕涼みや舟遊び、花火見物などでにぎわいました。市電事業の一環で、大正時代に入り今のような立派な姿に。場所も一筋東の堺筋に移されました。高欄や照明灯にデザインが凝らされ、橋の四隅のライオン像は、彫刻家・天岡均一の作。通称「ライオン橋」です。

- ◆ 架設：大正4年(1915)
- ◆ 改修：昭和50年(1975)



手のひらにのる

アジアン・ビューティー

大阪市立東洋陶磁美術館

住友グループから寄贈された「安宅コレクション」を収蔵しています。中国・韓国の陶磁器を中心に2700点。国宝が2点、重要文化財は13点。建造物という大きな芸術を眺めたあとは、青磁や白磁を鑑賞してはいかがでしょうか。



◆ 飛青磁花生



おおさかしこうつうきょくそねざきへんでんしよ

7 大阪市交通局曾根崎変電所

昭和8年(1933)に開通した地下鉄を支える施設。窓の上下の水平ラインを強調し、下部の角を優しく丸めたデザインに、昭和の戦前期らしい気配りがうかがえます。

- ◆ 竣工：昭和11年(1936)
- ◆ 住所：西天満2丁目7の9

▼ 大江橋

おおえばし よどやばし

8 大江橋・淀屋橋

大江橋は堂島開発によって架けられ、淀屋橋は江戸初期に、豪商淀屋が架けたと伝わります。

現在の橋は、御堂筋建設にもなって完成。デザインは当時としては珍しい公募で選ばれました。今も中之島の景観に、大きな存在感を示しています。重要文化財。

- ◆ 架設：昭和10年(1935)
- ◆ 設計原案：大谷龍雄



▲ 淀屋橋



ふりつなかのしまとしよかん

10 府立中之島図書館

日本館は住友家の寄付で開館した、大阪初の図書館です。正面はギリシア神殿、ドーム状の中央ホールは教会のよう。大正時代に、日高胖(ゆたか)の設計で両翼が増築されました。内部のドーム天井の吹き抜けは圧巻。重要文化財。

- ◆ 竣工：明治37年(1904)
- ◆ 設計：野口孫市・日高胖
- ◆ 住所：中之島1丁目2の10

おおえ

6 大江ビルディング

場所柄、弁護士事務所の需要を見込んで計画された、関西初の全室賃貸のオフィスビルです。

大正モダンと和を融合させた、個性的なデザイン。南東の角を角切りして正面玄関とし、上部には破風型の装飾、玄関上にプロンズ製雨避け。一度見たら忘れられない、不思議な魅力にあふれています。

- ◆ 竣工：大正10年(1921)
- ◆ 設計：葛野(かどの)設計事務所
- ◆ 住所：西天満2丁目8の1



にほんぎんこうおおさかしてんきゆうかん

9 日本銀行大阪支店(旧館)

ベルギーの国立銀行をモデルにした、ネオ・ルネッサンス様式。外壁は、レンガ壁に花崗岩を積んでいます。青銅板に緑青(ろくしょう)がかかったドーム型の屋根が印象的です。明治時代のすばらしい彫刻が施されたチーク材の内装や天井ステンドグラスの記念室。中庭の樹齢100年を超える楠(くすのき)もお見逃しなく。

- ◆ 竣工：明治36年(1903)
- ◆ 設計：辰野金吾
- ◆ 住所：中之島2丁目1の45

